

警備業の認可を持つスマートセキュリティカンパニーが考案

センサーによる活動量・室内環境データのモニタリングでプライバシーに配慮

敬老の日に始める「365日ご家族に負担ゼロ」の見守りサービス

スマートセキュリティおよびスマートタウン事業の株式会社Secual（本社：東京都渋谷区、代表取締役：菊池 正和、以下「Secual（セキュアル）」）は、独自開発のセキュリティ機器を利用した高齢者みまもりサービス『NiSUMU CARE（ニスムケア）』を提供。超高齢化社会における独居高齢者が抱える、「熱中症や持病などの発症による孤独死」や、「賃貸住宅への入居不承諾などの社会問題」の解決を目指しています。

『NiSUMU CARE』は専用サイトからお申し込みいただければ、ご家族に一切手間がかかりません。1)機器の設置、設定や操作も、2)日々の状態確認も、3)違いを見つけた場合の安否確認も、365日すべてSecualが対応します。

9月15日に「敬老の日」、9月15日から同月21日まで「老人の日・老人週間」を迎えることをきっかけに、『NiSUMU CARE』で家族の絆を深め、暮らしの安心を手に入れませんか。

差し迫る超高齢化社会問題の実態

- ・「高齢者を取り巻く環境の変化」
- ・「高齢者見守りサービスの種類と選び方」
- ・「孤独死となる環境的要因」
- ・「終活の前段階に向けた準備」

※これらの詳細データはこちら

https://docs.google.com/presentation/d/145dyvOIW0PJJ_tHCw8EmzDRc0lywT6pJ1anlgNT9sYg/edit?usp=sharing

センサーで日々の活動データをモニタリング

高齢者見守りサービス『NiSUMU CARE（ニスムケア）』

セキュリティからケアへの変換

Secualは「安心をもっとカジュアルに」をビジョン/ミッションにIoT技術を活用し、スマートフォンさえあれば誰でも簡単に設置や設定から契約、利用できる手頃な価格のホームセキュリティサービス『Secual Home（セキュアルホーム）』を提供しています。

（センサーが窓や扉の「開閉や振動、人の動きを検知」「ブザーで威嚇」「利用者へ通知」を行うことで、帰宅時に侵入犯と鉢合わせしてしまうような二次被害を避けることを目的としたサービス）

『Secual Home』の機能がホームセキュリティや監視を重視しているのに対し、『NiSUMU CARE』ではその技術をケアや安心感に焦点を当てた形に転用しています。



リアルタイムで活動量/環境状況を把握

就寝/起床時間や夜間の動きなどの生活リズムや、室内温度・湿度などの環境状況は、ご家族であっても知っているようで知らない情報です。

『NiSUMU CARE』はセンサーがこれらのデータを収集し続けることで、ご家族の生活リズムに基づいた異常を即座に検知。ご本人様へ安否確認後、日常との違いを見つけた際はご家族（緊急連絡先）へ架電をするサービスです。更に異常な環境状況による健康リスクも予防できるのが大きな利点です。

【料金】 初期費用：13,200円（税込）、月額費用：2,970円（税込）

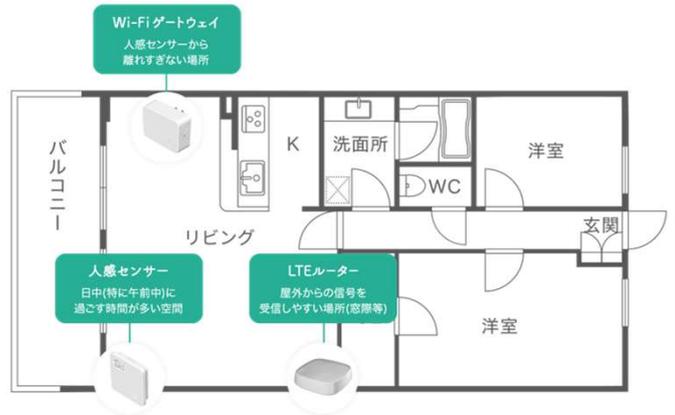
【詳細ページ】https://secual-inc.com/nisumu_care-i/

『NiSUMU CARE』 5つの特長

- 1) プライバシーに配慮したセンサーによる見守りカメラを使用しない為、見られると気持ちが休まらない等の精神的な負担はありません。
Good Design Awardを受賞し、お部屋に溶け込むSecualのセンサーが高齢者の生活をそっと見守ります。

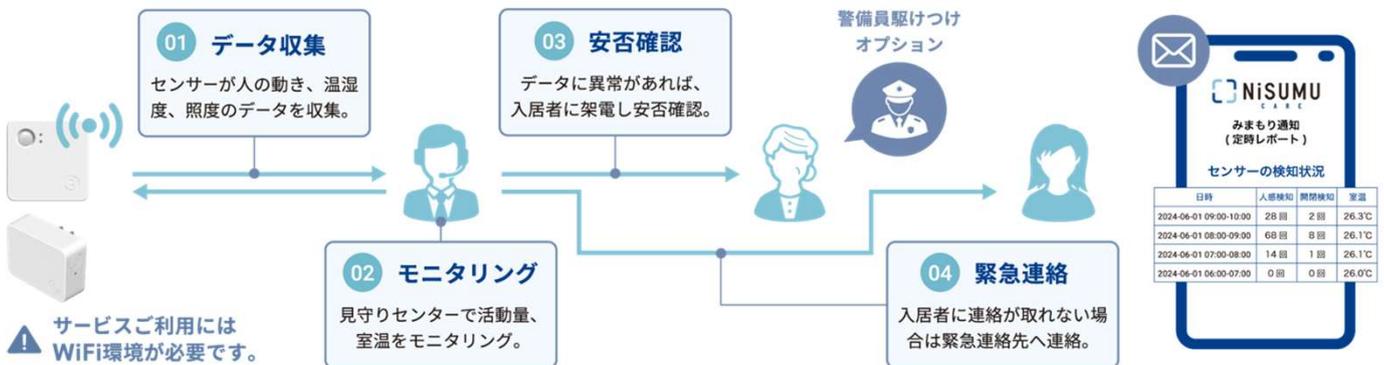


- 2) 機器の設置設定は専門スタッフが訪問対応
専門のスタッフが設置場所に訪問し、見守る方の生活パターンやお部屋の間取りに合わせて、推奨位置に機器の設置、設定を行います。



- 3) インターネット環境も提供
LTEルーターがセットとなっているので、設置場所にインターネット環境がなくてもご利用いただけます。

- 4) 見守りセンターでモニタリング・安否確認
専用の見守りセンターが、活動量やお部屋の環境情報（温度、湿度、照度）をモニタリング。異常※を検出した際、電話で安否確認を行いますので、仕事で忙しい時などにこまめにチェックいただく必要がありません。異常がない場合も、毎日ご家族へ定時レポートをお届けします。
※活動量の低下や、照度の変化、温度・湿度が閾値を上回るもしくは下回る場合



- 5) アプリや機器の操作は一切不要
ご高齢者がアプリを操作したり、専用機器をボタン操作したりなどは一切不要です。見守られていることも忘れて、普段通りに生活をしていただけます。

取材調整事項

実際にデバイスを設置しているSecual本社内デモルームでの実証実験、プロダクトの貸出によるご自宅での見守り及びセキュリティ物件の体験が可能です。ご希望の方は末尾記載の問い合わせ先までご連絡ください。



代表取締役CEO 菊池 正和

1998年4月 芝浦工業大学工学部電気工学専攻を卒業後、第二電電株式会社(現KDDI株式会社)に入社。音楽配信サービス「LISMO」開発リーダー、iPhoneの導入推進、コンシューマ向け商品企画、商品戦略マネージャーを経て、2014年退職。

2015年8月 株式会社VLOGを設立し、代表取締役に就任。セキュリティカメラの開発を行う。

2016年11月 株式会社Secual副社長に就任。

2018年6月 同社代表取締役CEOに就任。

「人間力×社会人力が個人の成長、ひいては会社の成長」に繋がるとの思いからMVV経営を実践。フラットな関係性を重視しながらも、従業員一人ひとりとしっかり向き合う事を重要視している。

■お話できること

ホームセキュリティを応用した高齢者見守りサービスを開発した背景、実証実験に関して、導入先からの声や今後の可能性、展望に関して etc…

取材可能場所 Secual本社内「デモルーム」



Wi-Fiゲートウェイ



人感センサー



LTEルーター

1) 各種実験協力

人感センサーにて

- ・ 普段の生活リズムのデータ収集
 - ・ 熱中症やヒートショックになるとされる、室内環境の変化をいち早く検知
- 上記以外にも様々な実験等が可能。

2) プロダクトの貸出

実際にご自宅にて数週間設置し、ご自身の生活リズムから推測する異常検知の様子を体験していただくことができます。また、セルフ型ホームセキュリティ『Secual Home』と同一機器の為、防犯対策と並行して活用いただくことも可能です。